

1からのハラスメント学習会ー県労会議青年部 22人が参加し事例をグループで討論も

9月6日、県労会議青年部は、「1からのハラスメント学習会」を岡山市民会館で開き、22人が参加しました。

自らの職場経験を生かして手助けをー講師

講師は、京都で機械設計技術者として働いていた大槻久美子さん。自らが過労による「身体表現障害」を発症し、その後職場での大きな出来事で「うつ病」となり休職。2006年に京都で初めての「身体表現障害」の労災認定を勝ち取りました。その後、この経験から「私と同じようなことで苦しんでいる人を一人でもなくしたい」と産業カウンセラーとなり、ニートや引きこもりなどの社会復帰支援を行っています。

増え続けるストレス、いじめ・いやがらせ

講演では、働く人のストレス状態で6割が「悩み、ストレス」を感じ、その原因は「人間関係、仕事の量と質、会社の将来性」などを挙げていること、自殺が依然高い水準にあり、精神障害の労災申請が増え続け、労働局の労働紛争では、「いじめいやがらせ」が「解雇」を抜いてトップになったことなどを示しました。

パワハラ の定義、取り組む意義と必要性

そして、ハラスメントにはセクハラ、モラルハラスメントなどがあり「職場のパワハラ」を厚生労働省が「職務上の地位や人間関係などの職場の優位性を背景に職務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為」として6つの例示を説明。

この問題に取り組む意義は、労働者の尊厳や人格を侵害させないことで損失を無くし職場全体のモチベーションの向上、活力につながるとし



てその必要性を指摘。そしてパワハラ の7つの判断基準を説明して、ハラスメントの発生しやすい職場、ハラスメントによる健康管理上の問題など職場の負の連鎖が生まれることなどを例も挙げながら説明。

発生させない職場作りで労組の重要な役割

パワハラを発生させないためには、「管理職を含むチームでの対応」が重要であり、一人一人が問題を見過ごさずに指摘し合える職場づくり、「見て見ぬふりは加害者と同じ」と指摘。こうした状況を作り出すうえで、労働組合と労働安全衛生委員会の役割が大変重要だと提起しました。

その後、数人に分かれて事例の検討を行い「パワハラに当たるかどうか」などの討論結果を発表して、講師からの判断と説明を受けました。

備前市の介護施設でパワハラによる焼身自殺事件の裁判などが報告されて、学習会を終わりました。

「過労死等予防対策推進シンポジウム」

11月28日13時半ー16時 岡山市勤労者福祉センター4階大会議室

講演：岩城穰弁護士（過労死防止全国センター事務局長）、清水善朗弁護士、

山本勝敏弁護士（過労死弁護団）主催：厚生労働省、後援：県労会議、県センター

岡山会場

過労死等防止対策推進シンポジウムを開催します。

●プログラム

- 13:30～ 主催者挨拶 厚生労働省 岡山労働局 労働基準部長 佐々木 英一
- 13:40～14:10 岡山における過労死事案について(仮題) 清水 善朗 弁護士(木もれび法律事務所)
- 14:10～14:40 岡山における過労死事案について(仮題) 山本 勝敏 弁護士(山本勝敏法律事務所)
- 14:40～14:50 休憩
- 14:50～16:00 『過労死等の防止のための対策に関する大綱』の内容と今後の課題 岩城 穰 弁護士(いわき総合法律事務所)

会場のご案内

岡山市勤労者福祉センター 大会議室(4階)

岡山市北区春日町5-6

岡山市役所前バス停から徒歩約10分



参加申込について

参加には事前の申し込みが必要です。
以下の参加申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申込みください。

◆申し込み先: **FAX 052-915-1523**

株式会社プロセスユニーク 過労死等防止対策推進シンポジウム 受付窓口 行

◆Webからの申込みは、下記ホームページをご覧ください。

<https://www.p-unique.co.jp/karoushiboushisympo>

参加ご希望の方は、職業/所属団体名、名前(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を明記し、FAX、または、ホームページからお申し込みください。申込み締切りは11月21日(土)です。申込み多数の場合、事前に締切る場合がありますのでご了承ください。

過労死等防止対策推進シンポジウム 参加申込書

| | |
|--------------|---|
| ご職業 所属団体名 | |
| ふりがな | |
| お名前 | |
| 住 所 | 〒 |
| 電話番号 | |

※申込みいただいた個人情報は、主催者が適正に管理し、シンポジウム運営のみに使用いたします。

(お問い合わせ先) 株式会社プロセスユニーク 電話:052-919-7883

E-mail:karoushiboushisympo@p-unique.co.jp